

やましんかわら版は
山新販売店と読者を結ぶ
ミニコミ誌です

NEW

やましんかわら版

今月もプレゼントや特典がいっぱいです。このマークをお見逃しなく!

発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

新聞休刊日のため11月10日(月)付朝刊はお休みさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。



かわら版編集部

〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7
(ホームページ) <http://www.yamashinhanbai.jp/>
(メール) kawaraban@yamashinhanbai.jp
読者お問合せ窓口
TEL.023-635-6111 (山新販売内)



今月の
いちばん
情報!!

「織る」から「編む」へ リネンの常識に挑んだ 山形の老舗ニットメーカー

陽の光にきらめくリネンニット。この綺麗な網目こそ、世界を驚かせた技術なのです。



ショールームにて、さまざま
な色や形のニットと
ともに。様々な色やデザ
インの製品が、所狭しと展
示されている。もちろん
製品の購入も可能です。

山形の老舗ニットメーカー「ケンランド」は1948年に創業して以来、大手ブランドなどのニット製品をOEM*で生産してきました。その後、上質な天然素材として知られる「リネン」にフォーカスし、今まで蓄積してきた技術や経験を活かした製品の開発に成功。今ではリネンの本場ヨーロッパで注目を集めています。今号ではケンランドの代表取締役 大沼秀一さんに、リネンのこと、同社の取り組みについてお話をうかがってきました。

Q、そもそも「リネン」とは?

▶リネンとは、フラックス(亜麻)を原料にした織物の総称です。紀元前のエジプトでも使われていたもので、人類最古の繊維とも言われています。特徴としては肌触りが良く、また使うほどに馴染んでいきますので、とても優秀な天然素材として愛好家の方も非常に多いようです。また、素材自体が持つ滅菌効果で清潔さを保ち、通気性と吸水性、そして熱伝導率も極めて高いので衣類や肌着にとっても適した素材なのです。ここで、リネン製品の原料であるフラックスは、6年の休耕後に作られ、現在は北ヨーロッパのわずかな地域でしか収穫できない極めて条件の限られた産物です。しかし、リネン糸を生成する工程で出る余った繊維は、紙はもちろん工業資材、建築資材へと加工され、全く捨てるところがありません。リネン産業は、完全にリサイクルの仕組みができあがっている産業であり、僕はそこに誇りを感じていま

す。地球を取り囲む環境問題をかながみれば、時代に求められている素材、究極のエコ素材だと思えるのです。

Q、業界の定説を覆した、御社の試みについて

▶以前、リネンの製品は「固い、重い、シワになりやすい」とされてきました。それは繊維を織って生地としていたから。以前は、リネンでニットを作るということは不可能だとされてきました。しかし私たちはニットメーカーとしての様々なノウハウを持ち、また原料の染色から加工、製造までを一貫してできる設備を備えていましたから、リネンの繊維を編んでニットを作るまで辿り着けたのです。「織る」から「編む」へ、既成概念を打ち破ったことで、『柔らかく、軽く、シワになりにくい』リネンのニットが生まれ、そのことはCELC(ヨーロッパリネン&麻連盟)からも評価していただいているようです。リネンの本場はヨーロッパ。それなのにリネンの常識を変えたのが、日本の、山形の一企業だったなんて、彼らにとって驚きだったでしょうし、面白いと思っていただいているのではないでしょうか。事実、国内よりも海外の方が私たちの製品に興味をもってくださる方が非常に多いです。

Q、冬でも着心地がいいと聞きましたが

▶リネンは夏に涼しく、冬にあったかい素材です。夏向きというイメージがあるようですが、意外と冬にリネン製のもの愛用しているという方は多いです。ショールームでは、例えばリネンと羊毛を合わせたニットなども取り扱っていますの

で、実際に着用して着心地を感じて欲しいですね。本当にナチュラルな素材ですから、肌に触れた時の優しさは例えようがない。心地よいと思えるその感覚を、私たちは5次元の感覚と呼んでいますが、使い手に心の満足感を与え、安心感を持ってもらえるような商品作りこそ私たちの目指すところ。リネンには人間の日々の営みに適した言い尽くせないほどの魅力があるのですから、これからもリネンという素材の可能性を追求し、みなさんの豊かな暮らしのお手伝いできれば嬉しですね。

株式会社 ケンランド

山形市双月町1-3-36 電話023-633-1155
<http://www.kenland.co.jp/>

プレゼント!

**リネン&モヘアの
ストールを1名様、
リネンの靴下(M&L)をセットで
1名様にプレゼント**
応募先は中面をご確認ください

*OEMとは、委託者のブランドで製品を生産すること、また生産するメーカーのことです。